

合金設計技術でSDGsに貢献 省資源型耐熱合金

NiやCoなどの合金元素の使用量を削減しつつ、高温酸化雰囲気における耐久性を改善可能な省資源型耐熱合金をラインナップしています。



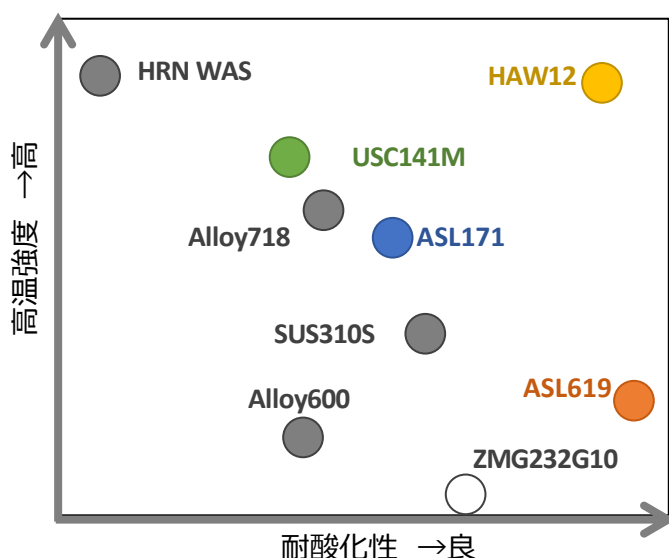
サステナポイント

添加元素量を低減した地球環境に配慮した合金であり、製品の長寿命化に貢献できます。

用途例

- ・ASL®171: ガasket
- ・ASL®619: 熱交換器
- ・USC141®M: 燃焼器、ボイラ管、タービン翼
- ・HAW12: シールリング、皿バネ

■ 高温強度と耐酸化性



ASL®171

- 特長：Alloy718に近い機械特性を有する省Ni型合金
- 用途例：ガasket

ASL®619

- 特長：Alloy800以上の高温強度を有する耐酸化性に優れた省Ni型Fe基合金
- 用途例：熱交換器

USC141®M

- 特長：高いクリープ強度を有し、熱膨張も比較的小さいCoレス耐熱合金
- 用途例：燃焼器、ボイラ管、タービン翼

HAW12

- 特長：Waspaloyと比較して耐酸化性に優れた省Co型Ni基合金
- 用途例：シールリング、皿バネ

■ 主要成分

(○：添加)

合金名	Fe	Ni	Cr	Mo	Co	Al	Ti	Nb
ASL®171	Bal.	41	15	0.7	-	○	○	○
ASL®619	Bal.	25	15.5	1.25	-	○	-	○
Alloy718	Bal.	53	19	3	-	0.5	0.8	5
USC141®M	-	Bal.	23.5	6.5	-	○	○	-
HAW12	-	Bal.	17.3	3.8	6	○	○	-
HRN WAS	-	Bal.	19.5	4.25	13.5	1.3	3	-

株式会社プロテリアル

【問合せ先】金属材料事業本部 特殊鋼統括部 産機材部

